



# 嚶鳴同窓会報

第49号  
 編集発行所  
 〒990-2492  
 山形市鉄砲町一丁目15-64  
 山形県立山形西高等学校  
 嚶鳴同窓会  
 連絡先 080-7893-1641



## 同窓生自らによる 嚶鳴同窓会の運営を目指して

会長 小笠原 悦子 (昭和50年卒)

嚶鳴同窓会会員の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

また、日頃から同窓会事業に対して、多大なる御支援、御協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、今年5月8日に新型コロナウイルスの感染法上の位置づけが、インフルエンザと同様の5類に分類されたことから、コロナ前の日常が戻りつつあります。

しかし、同窓会の活動については、当面は世の中の動きを見据え判断していかざるを得ないと考えております。

昨年4月の就任から、早くも1年が経過しました。第48号の会報挨拶では、現状を把握し時代の変化を踏まえた同窓会の在り方を考え、少しずつ改善案を御提案する旨申し上げましたが、今ここに同窓

会体制が大きく転換したことを御報告しなければなりません。

同窓会の設立以来、同窓会の事務局は「同窓生である西高の教諭」が「校内理事」という立場で勤めてくださっていた。各種会合の通知や資料作成、会報やホームページの作成、慶弔の手続きまで、多くの事務を担っていただきました。

しかし、生徒数の減少に伴う教諭数の減少に加え、近年の校内理事数の大幅減少、先生方の働き方改革等により、教諭が校内理事を務めることは今後不可能になり、同窓会が事務を担う体制が望まれる旨、学校側から提案が出され、話し合いを進めてきました。

大きな転換で戸惑いもありましたが、「校内理事が0名になる前に自立しよう」との判断で、この提案を受け入れることとしました。書面決議ではあるものの評議員の皆様は御理解もいただきましたので、令和5年度の総会で詳細を御説明申し上げます。

幸い、校長先生を始めとした学校側の御理解もあり、西高嚶鳴会館1階事務室を、「嚶鳴同窓会事務室」として毎週木曜日の午後と、事前予約した日時に使用させていただきました。また、長年校内理事として活躍いただいた伊藤和恵氏に同窓会の事務局長を担っていただくこととなり、急ピッチで事務局体制の構築を進めております。

これまで校内理事が担ってくださった様々な仕事を自分で進めるのは大変なことです。評議員の皆様には春先から独自のホームページ開設や会報作成、会則の改正や会計業務



## 未来を創造する人間を 育てる教育の推進

校長 片桐 寛 英

嚶鳴同窓会の皆様には、日ごろ多大なる御支援と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

コロナ禍の様々な制約もなくなり、学校にも活気が戻ってきました。4月の入学式、6月の山形県総合文化芸術館(やまぎん県民ホール)での創立125周年記念式典・合唱コンクール、そして7月の校内総体等も今年は盛大に開催することができました。

今春の進学状況については、国公立大学に116名、私立大学に延べ243名が合格し、中でも、山形大学の合格者は51名と、3年連続で大きく増加し、県内で最多となりました。

部活動では、さまざまな部(団体)の大仕事に主体的に取り組んでいただいています。今後、クラス幹事の皆様と同窓会員の皆様の御協力もなしに会の運営は成り立たなくなります。皆様のお力を、ぜひ嚶鳴同窓会にお貸しください。御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

体・個人」と登山部、新体操部(個人)が県高校総体で優勝して北海道インターハイに出場、新聞部、放送部、弁論大会は全国高校総合文化祭鹿児島大会に出場することができました。

校内では、校則等を大きく見直しました。18歳で成年になることから、主権者教育・人権教育充実の一環として「服装ルール」等については生徒が自主的に話し合っただけで決定し、運用することとしました。

また、国際化を推進するために、ユネスコスクールへの加盟を申請しました。正式認可は早くとも令和6年秋頃になる予定です。更に、地球市民として世界的な視点で考え、今後とも、豊かな未来社会を創造する人間を育てる教育を推進して参りますので、嚶鳴同窓会の皆様には一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

**令和5年度  
総会のお知らせ**

今年度も賀寿の皆様のご招待を見送らせていただきます。悪しからずご了承ください。

- とき  
令和5年11月12日(日)  
13時30分～
- ところ  
パレスグランデール  
(山形市荒町一丁目17-40)
- 参加対象  
県内在住の全役員・評議員  
および全学年クラス幹事  
※YouTubeによるオンライン配信(限定公開)を行う予定です。

# 「今を生きる」 嚶鳴同窓生たち

（ 令和4年度嚶鳴同窓会総会 ）

「今を生きる」健やかに心をつなぎ、豊かな人生へ。」  
 令和4年度、嚶鳴同窓会総会の当番幹事の私たちが掲げたテーマです。コロナ禍による1年間の総会休止を経て、令和3年度に再開した総会。私たちは当初の予定より1年遅れで幹事の仕事をスタートしました。

世の中はまだコロナの影響が強く、本来の総会のように盛大なアトラクションや会食はあきらめざるを得ませんでした。令和3年度同様、案内を差し上げる同窓生は県内在住の役員・評議員及びクラス幹事のみとしました。しかし、そんな状況だからこそ、総会の内容を明るく構成したいと発想の転換を図ることにしました。「同窓生を元気にしたい」という当番幹事の想いを一つにするため、テーマを掲げて総会の企画することを決めました。

どんな時でも元気であること、会えなくても心を寄せる

窓会の絆の強さを改めて実感しました。

同窓会三役の皆様、西高校内理事の先生方、20年ぶりに再会した皆様から感謝し、嚶鳴同窓会の益々のご発展をお祈り致します。  
 （昭和58年卒 須藤 祐子）



令和4年度嚶鳴同窓会 総会



# 椿山荘での初開催

3年ぶり東京支部総会

「楽しみにしてきました!!」  
 「〇〇さんは、どこの席か教えてくださる？」私達の学年は、3年ぶりとなる東京支部総会の準備学年として受付をしていると、友との再会を待ち望んでくださったのだなど嬉しくなりました。当初、我々の学年は2020年度の担当でしたが、こちらも持ち越しとなり、3年前にすでに作成していたパンフレットや、乳癌早期発見・ブレスト・ウェアアネスのエンタメ企画も日の目を見ることができたのです。未だ名物の合唱も省略、山形からの来賓も呼びでき

ない状況でしたが、昭和30年卒の大先輩を筆頭に200名を超える嚶鳴の同窓生が集い、楽しい時間はあっという間に過ぎました。会終了後は、椿山荘のすばらしいお庭の紫陽花を愛でながら散策もでき、皆様にご満足いただけただけではないでしょうか。

総会準備を通して、嚶鳴精神を引き継ぎつつ、次世代につなぐために尽力されている先輩方との出会いがありました。コロナ禍を経て、再スタートの状況ですが、集えば懐かしさに溢れ、育てられた母校への熱い気持ちが蘇ります。

東京支部の原動力を支えるよう、次の学年にバトンを繋いでいきたいと思えます。  
 （平成5年卒 西崎 淳子）



## おしらせ

山形県立博物館プライム企画展  
 「高等女学校と実科高等女学校  
 -青春の学びと生活-」  
 が、開催されます。

期間は  
**9月23日(土)**  
**~12月10日(日)**

アカシア会館から展示物(ピアノ等)運び、展示する予定です。山形西高校音楽部の演奏などの記念イベントも予定されていますので、皆様、ぜひ足をお運びください。



# 在校生の活動



## なぎなた部

### インターハイ出場

なぎなた部は6年ぶりに県総合体育大会で優勝し、インターハイの切符を掴み取ることができました。昨年度は一人もインターハイに出場できず、悔しい思いをしました。その悔しさをバネに、この1年間部員全員で練習メニューを工夫しながら、日々の部活動に取り組んできました。1月には東北ブロック予選会で優勝し、全国選抜大会に出場



することができ、多くの発見や学びを得ました。県総体ではプレッシャーを感じながらも、代表者戦の末、最後までチーム一丸となって勝ち抜くことができました。西高なぎなた部の一番の強みは団結力です。8月に北海道で行われるインターハイでも、部員同士で励まし合い、自分達の力を出し切り、最後まで15人全員で試合を楽しんでいます。

山が大好きです。今年度の県高校総体では、2年ぶりに優勝を果たし、インターハイの出場権を獲得することができました。北海道の雄大な自然を体全体で感じられる、刺激の大きな大会になるでしょう。万全な準備、万全な体調で満点を狙い、有意義な大会にします。

3年 工藤 美乃  
(なぎなた部部长)

3年 渡辺 仁胡  
(登山部部长)

## 登山部

### インターハイ出場

私たちは、1年次から3年次までの計23人で活動しています。平日の学校での部活では、歩荷などのトレーニングをしたり、天気図の作成をしたりしています。また、休日は月に2回ほど日帰りや泊まりでの登山に行っています。

登山は自分を成長させてくれます。山を登っていて辛いときには、立ち止まりたくなるときもありますが、休憩時に部員同士でお菓子を交換したり、何気ない話をしたりすることで頑張ることができ、山頂からの景色はなんとも言いようがないほど美しく、また登りたい！と思える、そんな景色ばかりです。本当に登

## 同窓会表彰式

学業成績・人物・部活動等全てにわたって優秀な生徒に、嚶鳴同窓会長賞が贈られました。特別活動で全国大会3位相当に入賞した生徒に贈られる特別活動賞には、今年度は該当者がいませんでした。

### 嚶鳴同窓会長賞

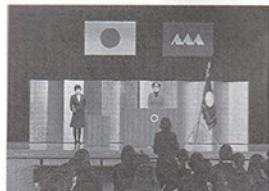
- 園分 真優 (英語部)
- 伊藤 心優 (英語部・弁論)
- 菅原 花 (書道部)



## 同窓会入会式

令和5年2月28日卒業式前日に、本校体育館にて令和4年度卒業生の同窓会入会式が行われました。体育館を会場にして行われるのも6年目となりました。昨年同様簡略化した次第ではありましたが、校長・事務部長・教頭・3年次担任団を来賓としてお迎えし、小笠原会長・鈴木副会長・齊藤副会長、校内理事5名の出席で開催されました。

記念の嚶鳴バッジを贈呈して、194名の新たな同窓生の門出をお祝いしました。



## 在校生の活躍

- 令和4年度 (前号未掲載分)**  
〈全国高等学校総合文化祭東京大会〉
- 弁論部門 伊藤 心優
  - 書道部門 菅原 花
  - 放送部門 (アナウンス) 伊藤 里紗
  - 朗読 矢口 美羽
  - 新聞部門 (展示参加) 軽部花れん
  - 坂入 美穂
  - 森谷 桃花
- なぎなた部  
全国高等学校なぎなた選抜大会 団体出場  
個人 工藤 美乃
- 音楽部  
NHK全国学校音楽コンクール東北ブロックコンクール 銅賞  
全日本合唱コンクール東北支部大会 銅賞
- 放送部  
東北高等学校放送コンテスト青森大会  
アナウンス部門 入選 峯田あかね  
朗読部門 奨励賞 齋藤 愛華
- 放課後実験倶楽部  
第8回全国ユース環境活動発表会東北地方大会  
協賛企業特別賞

- 令和5年度 (6月中旬まで)**  
〈県高等学校総合体育大会〉
- 登山部 第1位  
東北大会、インターハイ出場
  - なぎなた部  
団体 第1位 東北大会、インターハイ出場  
演技 第1位 日塔あかり・工藤 美乃  
東北大会、インターハイ出場  
第2位 阿部 美采・庄司 叶羽  
東北大会、インターハイ出場  
個人 第2位 庄司 叶羽  
東北大会、インターハイ出場  
第3位 阿部 美采  
東北大会出場  
第4位 工藤 美乃  
東北大会出場
  - 新体操  
団体 第2位 東北大会出場  
個人 第1位 高橋 花音  
東北大会、インターハイ出場  
第2位 山崎 心春  
東北大会出場

- 陸上競技部  
砲丸投げ 第1位 鈴木ひより  
東北大会出場  
やり投げ 第3位 鈴木ひより  
東北大会出場  
5千M競歩 第2位 鎌田 帆香  
東北大会出場
- 放送部  
県高校放送コンテスト  
朗読部門 第4位 浅野目真緒  
全国大会出場  
アナウンス部門 第1位 峯田あかね  
全国大会出場  
第3位 後藤 桜智  
全国大会出場

# 恩師を訪ねて

高橋 静夫 先生  
平成4年4月〜平成14年3月在職

「これは雪割草。三角草（みすみそう）とも言うよ。」と、初夏の山野草で彩られたご自宅のお庭を、笑顔で案内していただくことから始まった今回の訪問。高橋静夫先生（以下・静夫先生）に地学を教えていただいた私は、一気にその時代にタイムスリップしたような気持ちになりました。

## Q. 博物館勤務時代

A. 静夫先生は西高で教鞭を執られる前、山形県立博物館に勤務されていたそうです。館内に縄文時代の山形を再現した展示がありますが、その縄文人が着ている鹿の皮の衣服は、静夫先生達が鹿をさばって製作したものだそうです。また、トチの実を潰している石臼も、高島町日向洞窟付近の川に石を拾いに行き、自ら

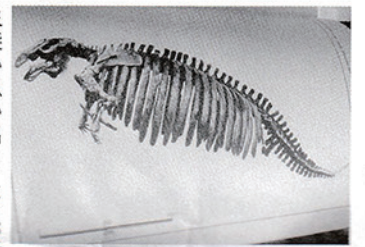


お庭の前にて

削って作られたり、教育資料館の展示にも関わったそうです。「昔の学芸員はなんでもさせられたんだ。」と笑いながらお話しくださいました。

## Q. 山形県の宝物「ヤマガタダイカイギユウ」を発掘

A. 静夫先生に教わったことのある同窓生であれば、「静夫先生といえばヤマガタダイカイギユウ」と自然に言葉が出てしまうのではないのでしょうか。大型動物化石は、IDUSISIREN DEWANNA（ドゥッシーレン デワナ）の学名で新種として学会誌に発表され、山形県の天然記念物に指定されています。



ヤマガタダイカイギユウの骨格（論文より）

象深い思い出としてお話くださったのは、生徒たちと約束して授業を始めていた逸話でした。「眠くなったらその場に立っていいよ」と言って授業を始めると、何人かが所々で立ったり座ったりしてね。授業中寝るのはダメだから、その方がお互い気分がいいというのでやっていったんだ。」

眠くなったら立ちあがる素直な西高生を思い浮かべると、つつい微笑ましくなり静夫先生と一緒に笑ってしまいました。

## Q. どの部活の顧問でしたか？

A. 地学部と写真部。地学部では、昆虫化石を採りに行ったり天体観測をした。写真部では毎年飛鳥に行っていた。実験室に暗室があったため、そこで現像もできた。高校文化祭では全国大会で福岡まで行ったこともあったとのこと。

## Q. ご退職後はどのようなことをされていらっしゃいますか？

A. 「退職した次の年、栗野先生に頼まれて、新巻鳴同窓会館の展示物の展示替えを手伝った」とのことでした。今も静夫先生が新しく貼ったラベルがあるかもしれない。その後はご実家の果樹園をす

間担任団に關われて、楽しかったよ。」ときっぱり。中でも印

したか？

## Q. 在職10年間はいかがでしたか？

A. 「毎日が精一杯。でも9年間担任団に關われて、楽しかったよ。」ときっぱり。中でも印

ることになり、6年ほど農業をされていたそうです。現在は、「約40年やってる謡曲を楽しんでるようです」と奥様が教えてくださいました。

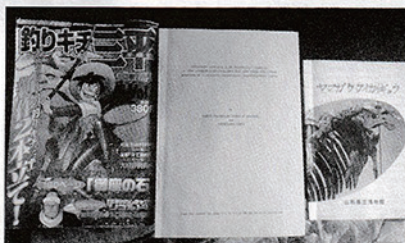
## Q. 同窓生や西高生へメッセージをお願いします。

A. 「ないなあ、素晴らしい今のままでいい。西高には素晴らしい伝統があり、それを大事にしているのが偉いと思う。生徒たちは行事となると一杯楽しんで、みんなブライドを持っていった。街で西高生の制服を見ると輝いている。卒業しても、切磋琢磨して嚶鳴精神を大事にしている。」と、優しいお言葉をいただきました。多岐にわたるお話が興味深く、このコーナーだけでは書ききれない内容満載でした。

「いつでもまた顔見せに來いな。」と言っていたのでまたお話を伺いたいと思いました。その際は、もしかしたら、別冊「嚶鳴同窓会報」「恩師を訪ねて」を皆様にお届けできるかもしれません。

## （訪問者）

昭和56年卒 神保 由美  
平成8年卒 井上 尚里



左から漫画雑誌、論文、小学生向け小冊子

# 並木道

## ラジオってじぶとメディア

平成13年卒 逸見 千尋

私は今、山形県内にあるFMラジオ局に勤務しています。

私とラジオの出会いには高校生の時。好きなアーティスト（今の言葉で言うところの「推し」）のトークを聴くためにラジオを聴き始めたのがきっかけです。そんな私の「推し」は、「路上ライブ」チームをもたらし男性デュオの「ゆず」。彼らはデビュー当時、地上波のテレビに出演することがなかったため、彼らのトークを聞くには「ラジオ」を聴くしかありませんでした。所謂「深夜ラジオ」と呼ばれる時間帯に出演していたので、家族を起こさないようにと布団の中に入って聴いていたのを思い出します。その上、使っていたラジオは中学生の時に授業で制作した手作りラジオ。ラジオとの思い出に溢れた青春時代でした。

ラジオ業界は2000年代に入った頃からずっと苦境を迎えています。その大きな要因は「ラジオ離れ」です。特に10代〜20代の若者のラジオ離れが年々顕著になってきました。

「このままではラジオは消えてしまうのではないかな？」そんな不安が付きまとう中、ラジオの価値が見直された大きな出来事が起こります。「東日本大震災」です。東北の方々にどうしてはあまりにも辛い出来事ですが、リスナーの皆さんから「ラジオに助けられた」という嬉しいお言葉をいただいたことは今も大きな宝になっています。そしてもう一つ、ラジオが注目されるようになったのが「新型コロナ」です。感染症の蔓延によって外出自粛や在宅ワークが増えたことで、何かしながらでも聴けるラジオが重宝されるようになりました。大変な時に力を発揮できるのが「ラジオ」なんです。現在はZ世代と呼ばれる若者たちの間でもラジオなどの音声メディアが注目されています。「音の再価値化」が加速していると言われています。

先日、西高の前を通りかかった時に校舎の外壁に飾られた放送部の皆さんの活躍を目にしました。令和4年度の山形県高校放送コンテストで、アナウンス部門や朗読部門、制作ラジオドラマ部門で1位を獲得！後輩たちがラジオの世界で活躍しているのを見て「ラジオはまだまだしぶとく残っていて、そう確信しました。いつか後輩たちの番組を放送できた際はOGの皆様にも是非お聴きいただければ嬉しいです。」



# いつまでも輝いて…

卒業生からのお便り

## 「私と水泳」

昭和51年卒 岡崎 郁子

小学校4年生夏休み、雨のプールにたった一人、空を見ながら漂って、どれ位時間が経ったか分からないほどでしたが、25メートル泳ぎ切っていました。それまで水泳が苦手嫌いだった私が、生まれ初めて泳げたことで、人生が大きく変わった日です。中学・高校・短大と水泳部に所属し、特に西高に於いては部活のお陰で学校に通うことができたと言っても過言ではありません。短大卒業後、山形

スイミングクラブにコーチとして勤務し数々の子供たちやその親たちからは、多くを学びました。平成元年に発足した障がい者の水泳クラブに関わり、東北・全国大会等に参加協力することで、多くのパラ選手・スタッフと出会いました。また、平成4年山形国体でシントロナイズドスイミングに関わるため、練習を体験したり大会を見学に行きましたが、平成6年から「水球」と深く関わるようになります。

## 「出逢い直し」で素晴らしい時間を共有

平成4年卒 西田 稚子

医師、母として悩み、答えを求めてもがいていた8年前の私。そんな折、友人にある講演会に誘われたのがきっかけで、世の中で活躍するさまざまな人のお話を聴くことが習慣になりました。講師が語る半生には自分とは全く違う人生があり、苦悩の乗り越え方もさまざま。リアルな人生の体験を聴くことは心に浸透する説得力がありました。

そんな経験から、いいお話を多くの人に届けたい、私が勇気をもったように今度は私

私とその恩を皆さんにお返しする「恩送り」だと思い、講演会の主催を始めました。その頃は、囁き同窓会幹事として「出逢い直し」をした友人と良いお付き合いをさせてもらっていました。私の想いを彼女たちに話すと、当時はコロナ禍にも関わらず迷いなく応援してくれました。さらに連絡のつく西高同窓生にも呼びかけ、8人もの友人が講演会のスタッフになってくれました。恩師の栗野先生、加藤先生も講演会に参加してく

水球コースを設立し小学生チームで東北大会に参加したところ、初出場で優勝してしまい、全国大会へと進むことになりました。流石に全国のレベルは高く小学生区分初優勝まで5年かかかりました。スイミングクラブを退職後は、小学校の水泳授業や依頼を受けた水泳教室の指導に15年程携わり、コロナ禍3年が過ぎましたが、個人的な依頼を受け、送迎も兼ね自分自身のためにも水中トレーニングに励み、水と親しむ活動をしている現在です。これからも、水球・パラ水泳・ライフセービングクラブと関わりながら、水の中の愉しみや厳しいことを乗り越えることの大切さ、人との出会いが大事なことを伝えていくことが私の役目と

ださり、昨年6月にビッグウェイニングで開催した講演会は素晴らしい会になりました。そして、今年6月、文翔館で、講演と歌、ピアノ演奏を交えたトークライブを開催しました。予想を上回る大規模なイベントになり少し戸惑いましたが、西高同窓生スタッフが一丸となって知恵とパワーを結集し、温かくて素晴らしい会にすることができました。スタッフとして手伝ってくれた同窓生は12名。このトークライブを機に新たに「出逢い直し」をした友人もいます。「与えることは受けとることと同じ」という言葉が示すように、誰かを応援したいと思う気持ちで始めたことが「出逢い直し」



に繋がり、私たちに素晴らしい時間をもたらしてくれました。西高のご縁に感謝！



岡崎郁子さんは全国障害者スポーツ大会水球競技の監督として上位入賞され、表賞状を授けられました。

## 魚と向き合う日々の中で

平成13年卒 高木 牧子

あの時の西高生だった私からは、20年後、自分が大きなマグロをさばくようになっていくとは想像もできなかったでしょう。

子どもの頃から生き物が好きだったという理由で、大学は理学部の生物学科に進学しました。特に魚が好きだったので、魚の研究室に入りますが、なぜか魚の研究室に入り、そのまま恩師に導かれるように山形県の「水産」というマイナーな職種で採用されました。

私がおぼろげに研究の中に「庄内おぼろげサワラ」というブランド魚があります。この魚はその品質の良さから築地市場で「日本一のサワラ」と呼ばれるまでになり、今では山形県を代表するブランド魚になっています。そして嬉しいことに、このブランド化に際する鮮度の研究や、メタボローム解析を活用した「熟成魚」の研究が評価され、令和3年度には「全国水産試験場長会会長賞」を、令和4年度には「山形県科学技術奨励賞」を受賞いたしました。これまでの関係者の努力が私の研究を通して報われた気がして、少しは役に立てたのかなと嬉しく思っています。



右が高木牧子さん

内陸育ちで海には全く縁のなかった私は、漁業という未知の世界や、漁師さん相手の会話に四苦八苦し、自分はこの仕事をやっていけるのだろうかかと悩んだものでした。今では漁師相手の冗談混じりの会話も手慣れたもんだと言われます。

平成29年からは鶴岡市にあ



マグロをさばく高木さん



# 「嚶鳴クリエイティブラボ」 協力者の募集について

山形西高等学校 教育デザイン課  
課長 岡田 克弘

嚶鳴クリエイティブラボ(OCL)とは、社会が抱える様々な課題について、グループで調査・研究を行い高校生の視点から解決策を提案する本校の探究活動の愛称です。1年次は山形をテーマとして、2年次は社会全般からテーマを考え、いずれもSDGsの視点をとり入れながら課題解決を目指した活動をしています。現在、山形大学及び東北芸術工科大学との連携協定を活用し大学職員の指導も仰ぎながら学びを深めているところですが、支援体制の充実を図るために卒業生の皆様のお力を

お借りできないものかと考えたところ、学校からお願した時に、少しでもご協力いただける方を募集いたします。QRコードから、募集の趣旨や活動の内容をご覧いただきご登録をお願いいたします。尚、この件に関するお問い合わせはメールでお願いいたします。

sokaday@prei-yamagata.ed.jp  
教育デザイン課 岡田



嚶鳴クリエイティブラボ (OCL)

## 「寄贈ありがとうございます」

下記のお二方から同窓会に本を頂戴しました。

『山形夢横丁セピアの町』(宮地辰雄著)

旧職員 宮地 信様(故人) ご子息

『のし梅の歴史』(乃し梅本舗佐藤屋発行)

佐藤 淳子様(S45年卒) より

### 同窓会の事務局体制がかわります

事務局移行に伴い連絡先が変わります。同窓会に関する情報(計報・変更・問合せなど)は、学校事務室・職員室ではなく、下記までお知らせください。

問合せ先 080-7893-1641  
(ショートメールにてご連絡ください)

メール: oumei.dousoukai24@gmail.com

事務局長: 伊藤和恵 (昭和59年卒/旧職員)

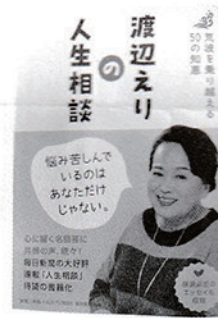
木曜日14時~16時は学校嚶鳴会館1F事務室で維持会費納入等に対応いたします。



同窓会事務室

### Information

~出版物のご紹介~



渡辺 えり(えり子)さん (S48年卒)  
『渡辺えりの人生相談 - 荒波を乗り越える50の知恵』



武田 葉月(郁)さん (S60年卒)  
『インタビュー ザ・大関 - 運と人を味方につける』

### 嚶鳴同窓会役員

佐藤 伶子	顧問	昭30	西高1
武田美津子	顧問	昭39	西高10
鈴木よし子	顧問	昭43	西高14
片桐 寛英	学校長・顧問		
小笠原悦子	会長	昭50	西高21
鈴木 京美	副会長	昭53	西高24
齊藤 明美	副会長	昭54	西高25
菅野 ふみ	後援活動委員	昭40	西高11
佐々木智子	組織検討委員	昭41	西高12
吉田 通子	維持会費検討委員	昭42	西高13
蜂屋 三恵	後援活動委員	昭43	西高14
辻原 吉子	維持会費検討委員	昭44	西高15
佐藤 淳子	組織検討委員	昭45	西高16
青木 智子	後援活動委員	昭46	西高17
奥山 潤子	組織検討委員	昭47	西高18

中山 恭子	監事・組織検討委員	昭48	西高19
浜田 文子	組織検討委員	昭49	西高20
田中 裕子	会報編集委員	昭51	西高22
石川 由美	組織検討委員	昭52	西高23
齋藤 良枝	維持会費検討委員	昭55	西高26
神保 由美	会報編集委員	昭56	西高27
富樫由美子	会報編集委員	昭57	西高28
須藤 祐子	組織検討委員	昭58	西高29
横沢 由実	後援活動委員	昭59	西高30
會津菜穂子	組織検討委員	昭60	西高31
桑山久爾子	組織検討委員	昭61	西高32
鈴木 淳子	組織検討委員	昭62	西高33
武田 靖子	会報編集委員	昭63	西高34
武田由利子	監事・後援活動委員	平元	西高35
氏家美由紀	維持会費検討委員	平2	西高36

三浦 由紀	後援活動委員	平3	西高37
鈴木 千尋	会報編集委員	平4	西高38
菊池 貴子	維持会費検討委員	平5	西高39
笹森 愛	維持会費検討委員	平6	西高40
須賀 信子	維持会費検討委員	平7	西高41
井上 尚里	会報編集委員	平8	西高42
瀧本 悠子	会報編集委員	平9	西高43
岡田真知子	維持会費検討委員	平10	西高44
千歳 聡美	組織検討委員	平11	西高45
石澤加奈子	会報編集委員	平12	西高46
逸見 千尋	会報編集委員	平13	西高47
鹿野 由貴	東京支部長	昭48	西高19
田中ふみ子	寒河江支部長	昭44	西高15
庄司 鈴子	庄内支部長	昭43	西高14



### 令和4年度 主行事務報告

#### <令和4年度事業報告>

#### 令和4年

- 4月21日(木) 令和3年度会計監査
- 5月11日(水) 第1回評議員会
- 5月 嚶鳴三会長副会長会 (中止)
- 6月8日(水) 東京支部総会  
(ホテル椿山荘東京)
- 6月22日(水) 創立記念式典・校内合唱コンクール  
(やまぎん県民ホール)
- 8月8日(月) 第2回評議員会  
(第1回クラス幹事会は実施せず)
- 11月6日(日) 同窓会総会  
(パレスグランデール)

#### 令和5年

- 2月28日(火) 同窓会入会式・表彰式  
(本校体育館)
- 3月1日(水) 卒業式  
(本校体育館)

### 令和4年度 維持会費納入状況 (令和4年4月1日~令和5年3月31日:納入者氏名省略)

#### 【187クラス 935,000円】

#### ◎令和4年度分

- 昭和39年1~5組
- 昭和40年4、5、6組
- 昭和41年1~6組
- 昭和42年1、2、4、6組
- 昭和43年1~6組
- 昭和45年1~6組
- 昭和46年1~6組
- 昭和47年1~6組
- 昭和48年1~6組
- 昭和49年1、3、4組
- 昭和50年1、6組
- 昭和52年1~6組
- 昭和53年1~6組
- 昭和54年1~6組
- 昭和55年1~6組

- 昭和56年1~6組
- 昭和57年1~6組
- 昭和58年1~6組
- 昭和59年1、2、4、6組
- 昭和60年1~6組
- 昭和63年1~6組・
- 平成元年1~6組・
- 平成2年1~6組・
- 平成4年1~7組
- 平成5年1~7組
- 平成8年1~7組
- 平成10年1~7組
- 平成12年1~7組
- 平成13年1~7組

#### ◎令和3年度分

- 昭和56年1~6組
- 昭和59年4組

#### ◎過年度分

- 昭和59年4組



### ご冥福をお祈り申し上げます

- |                       |               |                       |                      |                      |                      |                        |                     |                      |                       |                      |                      |                     |                       |                      |                 |                      |                      |                      |                       |                       |                       |                      |                      |             |                        |              |                      |                       |
|-----------------------|---------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|---------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|-------------|------------------------|--------------|----------------------|-----------------------|
| 大塚(長谷川)明子<br>(S 38西高) | 松岡 しげ子<br>旧職員 | 曾根田(村井)穂子<br>(S 26南高) | 鈴木(藤田)陽子<br>(S 26南高) | 高橋(高橋)和子<br>(S 26南高) | 小泉(真田)英子<br>(S 26南高) | 佐竹(久連山)久美子<br>(S 55西高) | 松木(林)功子<br>(S 32西高) | 小倉(後藤)薫子<br>(S 26南高) | 杉山(木村)千代子<br>(S 28南高) | 鹿野(増子)喜美<br>(S 34西高) | 菅野(前田)ヨシ<br>(S 34西高) | 黛(山西)祥子<br>(S 42西高) | 河口(川原)子二美<br>(S 53西高) | 奥泉(奥泉)充子<br>(S 16高女) | 志鎌 聡子<br>(H元西高) | 遠藤(奥山)睦子<br>(S 30西高) | 石川(鈴木)行子<br>(S 19高女) | 元木(高橋)久子<br>(S 36西高) | 稲村(藤田)ハナ子<br>(S 19高女) | 阿部(斎藤)カチ子<br>(S 31西高) | 阿部(佐藤)美智子<br>(S 41西高) | 高橋(鈴木)弘子<br>(S 29南高) | 藤田(坂野)陽子<br>(S 34西高) | 藤澤 幸<br>旧職員 | 五十嵐(木村)千恵子<br>(S 46西高) | 森谷 昌彦<br>旧職員 | 佐藤(庄司)住子<br>(S 28南高) | 松倉(大沼)いく子<br>(S 28南高) |
|-----------------------|---------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|------------------------|---------------------|----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|-----------------------|----------------------|-----------------|----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|-------------|------------------------|--------------|----------------------|-----------------------|

### 編集後記

今年度から事務局の体制が変わったことを機に、同窓会報をリニューアルしました。会報編集委員会にも若いメンバーが加わり、どんな紙面にしようか、あれこれアイデアを出し合う編集会議は楽しい時間です。同窓生や在校生の活躍はうれしいもの。会報が、その喜びを分かち合い、「嚶鳴の絆」を繋ぐものになればと願っています。

(昭和51年卒 田中 裕子)



同窓会報編集委員

#### ○会報編集委員(評議員)

- 田中 裕子
- 富樫 由美子
- 鈴木 千尋
- 瀧本 悠子
- 逸見 千尋
- 石井 武神
- 澤上 田保
- 加奈 尚靖
- 里子 美

### 同窓会報へのお便りを お待ちしております

- 宛先 / 〒990-2492  
山形市鉄砲町1-15-64 山形西高校内  
嚶鳴同窓会 会報編集室  
「同窓生からのお便り」係
- お願い / 卒業年、住所、電話番号をご記入の上  
お送りください。
- 問合せ / 080-7893-1641  
\*学校の電話ではなくなりました。
- メール / oumei.dousoukai24@gmail.com



令和 4 年度 嚶鳴同窓会会計決算書

1 収入の部 (単位：円)

項 目	4年度予算額(A)	4年度決算額(B)	増減(B-A)	備 考
I 経常費	6,979,000	9,107,753	2,128,753	
1 繰越金	4,802,828	4,802,828	0	R3年度残金
2 維持会費	1,000,000	935,000	△ 65,000	5,000円×187 = 935,000
3 入会費	588,000	1,558,000	970,000	3,000円×196人(R3)/5,000円×194人(R4)
4 会 費	588,000	1,558,000	970,000	3,000円×196人(R3)/5,000円×194人(R4)
5 雑収入	172	253,925	253,753	利息他
II 基本金	4,645,000	4,604,955	△ 40,045	定期預金4,100,000円を含む
1 繰 越	4,604,880	4,604,880	0	定期預金4,100,000円を含む
2 バッジ	40,000	0	△ 40,000	
3 寄付金	0	0	0	
4 雑収入	120	75	△ 45	利息
計	11,624,000	13,712,708	2,088,708	

2 支出の部 (単位：円)

項 目	4年度予算額(A)	4年度決算額(B)	増減(B-A)	備 考
I 経常費	6,979,000	1,875,153	△ 5,103,847	
1 総会費	2,000,000	1,051,434	△ 948,566	
2 支部補助費	300,000	200,000	△ 100,000	東京支部補助 (R3・R4)
3 会議費	200,000	66,581	△ 133,419	評議員会・クラス幹事会
4 後援費	60,000	40,500	△ 19,500	活動助成金・全国大会激励金
5 記念品費	0	0	0	
6 印刷発行費	350,000	260,450	△ 89,550	会報印刷代・封筒印刷代
7 事務費	100,000	54,873	△ 45,127	宛名ラベル・封筒代
8 通信費	200,000	54,093	△ 145,907	葉書代・切手代
9 慶弔費	120,000	14,872	△ 105,128	弔電代・祝電代
10 交通費	300,000	80,000	△ 220,000	役員交通費
11 諸 費	150,000	52,350	△ 97,650	入会式経費・振込手数料
12 次年度繰越金	3,199,000			
II 基本金	4,645,000	250,140	△ 4,394,860	
1 10年勤続表彰関係	65,000	74,160	9,160	表彰状・額・記念品 (牛のあゆみ)
2 生徒表彰費	100,000	63,770	△ 36,230	表彰状・額・副賞 (図書カード)
3 事務費	5,000	0	△ 5,000	
4 通信費	5,000	0	△ 5,000	
5 記念品費	0	104,650	104,650	前三役への記念品
6 諸 費	110,000	7,560	△ 102,440	卒業アルバム
7 次年度繰越金	4,360,000			
計	11,624,000	2,125,293	△ 9,498,707	

経常費：総収入額 9,107,753円 - 総支出額 1,875,153円 = 残金総額 (繰越金) 7,232,600円  
 基本金：総収入額 4,604,955円 - 総支出額 250,140円 - 特別会計基本金へ4,354,815円 = 0円  
 (単位：円)

特別会計

	期首残高	期末残高	増減
嚶鳴同窓会基本金		4,354,815	
嚶鳴同窓会名簿会計	2,045,339	2,046,864	1,525
嚶鳴同窓会記念事業費	7,715,238	7,721,304	6,066

令和 5 年度 嚶鳴同窓会会計予算書 (案)

1 収入の部 (単位：円)

項 目	5年度予算額(A)	4年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
1 繰越金	7,232,600	4,802,828	2,429,772	R4年度残金
2 維持会費	1,000,000	1,000,000	0	5,000円×200クラス
3 入会費	945,000	588,000	357,000	5,000円×189人
4 会費	945,000	588,000	357,000	5,000円×189人
5 雑収入	200	172	28	利息他
計	10,122,800	6,979,000	3,143,800	

2 支出の部 (単位：円)

項 目	5年度予算額(A)	4年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
1 総会費	1,300,000	2,000,000	△ 700,000	
2 支部補助費	300,000	300,000	0	支部補助
3 会議費	100,000	200,000	△ 100,000	評議員会・クラス幹事会
4 後援費	100,000	60,000	40,000	活動助成金・全国大会激励金他
5 表彰・記念品費	100,000	0	100,000	生徒表彰・10年勤続表彰
6 広告宣伝費	300,000	0	300,000	ホームページ制作・チラシ印刷・広告料
7 慶弔費	100,000	120,000	△ 20,000	弔電代・祝電代
8 印刷発行費	300,000	350,000	△ 50,000	会報印刷代
9 事務費	1,000,000	100,000	900,000	事務用品・人件費・封筒印刷・光熱費
10 通信運搬費	200,000	200,000	0	インターネット利用料・郵送料・宅急便
11 旅費交通費	100,000	300,000	△ 200,000	交通費
12 支払手数料	10,000	0	10,000	振込手数料・各種手数料
13 雑費	10,000	150,000	△ 140,000	
14 次年度繰越金	6,202,800	3,199,000	3,003,800	
計	10,122,800	6,979,000	3,143,800	